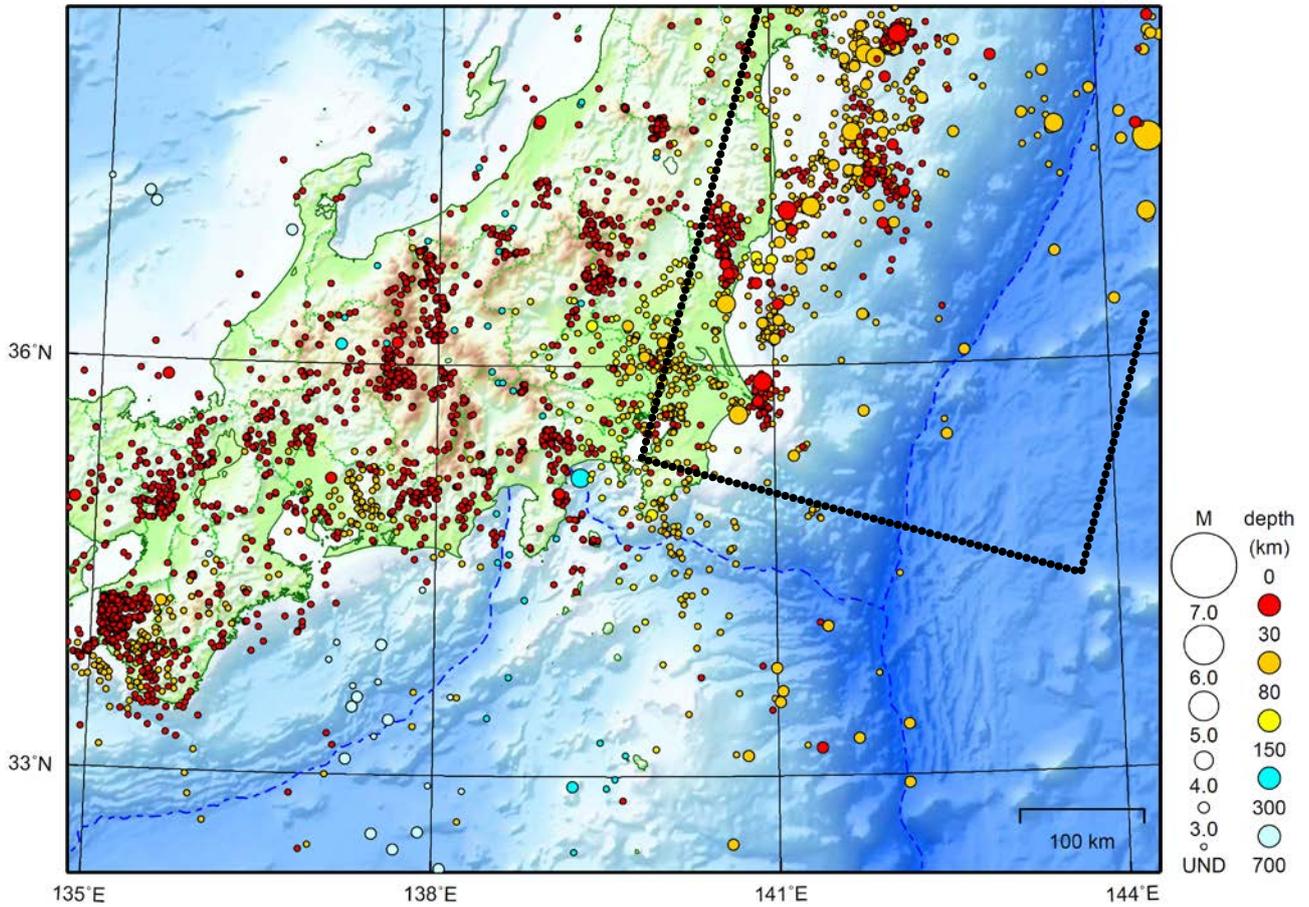


# 関東・中部地方

2016/01/01 00:00 ~ 2016/01/31 24:00

N=4094



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った地震活動はなかった。

（上記範囲外）

- ・ 1 月 6 日に硫黄島近海で M6.0 の地震（最大震度 1）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

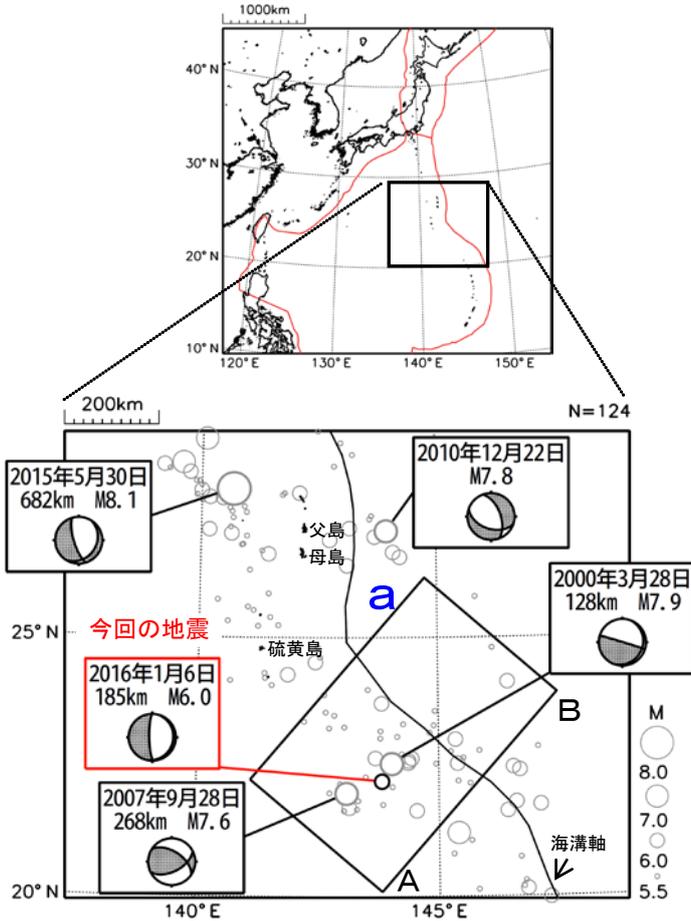
# 1月6日 硫黄島近海の地震

震央分布図

(2000年1月1日～2016年1月31日、  
深さ0～700km、 $M \geq 5.5$ )

2016年1月の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解

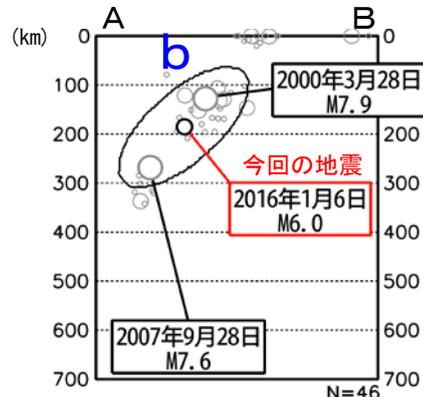


2016年1月6日06時59分に硫黄島近海の深さ185kmでM6.0の地震 (最大震度1) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構は東西方向に張力軸を持つ型である。

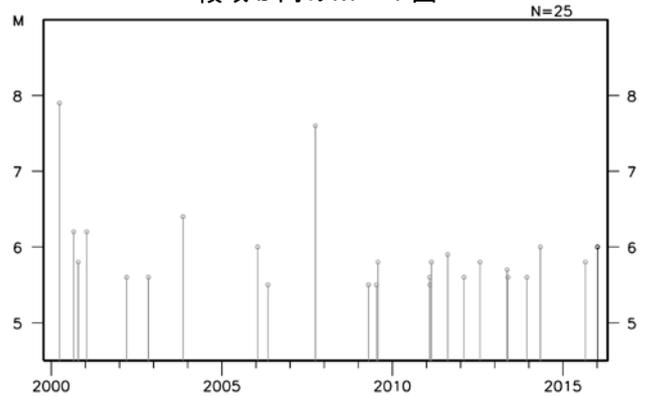
2000年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺 (領域b) では、M7.0を超える地震が2000年3月28日 (M7.9、最大震度3)、及び2007年9月28日 (M7.6、最大震度2) に2回発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、M7.0以上の地震が時々発生している。

領域a内の断面図 (A-B投影)

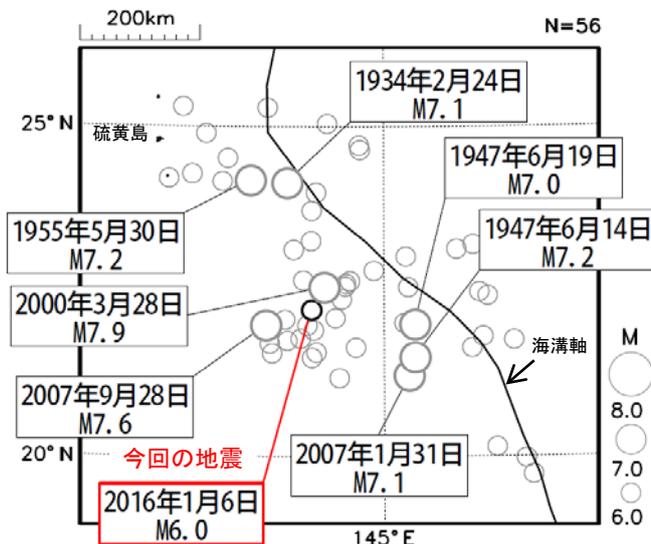


領域b内のM-T図



震央分布図

(1923年1月1日～2016年1月31日、  
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$ )



左図の領域内のM-T図

